

東大阪市市民体育大会の再開に向けた 感染拡大予防ガイドライン

令和2年6月1日

東大阪市市民スポーツ支援課

- ★各施設の利用ガイドラインに則り運営してください。
- ★各競技の中央競技団体（上部団体）が策定したガイドラインに則り運営してください。
- ★障がい者や高齢者など参加者の特性にも配慮してください。

参加募集時の参加者への対応

参加者に以下の内容を求める

- 右記事項該当の方は参加を見合わせる
- マスクの持参
- こまめな手洗い、消毒、うがいを実施
- 人との距離を保つ（2mを目安に）
- 大声での会話、応援を控える
- 大会運営者の指示に従う
- 大阪コロナ追跡システムの利用
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会運営者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

参加受付時の大会運営者留意事項

- 受付には、手指消毒剤を設置する
- 発熱や咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限する）
- 対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する
- 距離をおいて並べるように目印の設置等を行う
- スタッフは、マスクを着用する
- インターネット受付等の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにする
- 当日の受付のほか、イベント前日の受付を行うなど当日の混雑を極力避ける

参加者への対応

- 参加者の体調等の確認（右記内容）
- 参加時のマスクの着用（運動時を除く）
- イベント前後の集会も三密を避け、マスクを着用

- ①氏名、年齢、住所、連絡先
- ②イベント当日の体温
- ③イベント前2週間における以下の事項の有無
 - ア 平熱を超える発熱
 - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - エ 嗅覚や味覚の異常
 - オ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - カ 陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

大会運営者が準備等すべき事項

(1) トイレ・手洗い場所

- 石鹸を用意。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示または周知する
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する

(2) 更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する措置を講じる。
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する

(3) 飲食物の提供

- 原則大会運営者は飲食物の提供を行わない

(4) 観客の管理

- 原則無観客または最低限で行う
- 観客がいるいる場合には、観客同士が密な状態とならないよう対応をとる
- 大声出さない、会話を控えること、マスクを着用すること等の留意事項を周知する

(5) 会場の換気

(6) ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛る
- 回収する人は、マスクや手袋を着用
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する

参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離を確保し、強度が高い運動は、呼吸が激しくなるため特に注意する（2mを目安に）
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わない
- タオルの共用はしない
- 飲食は指定場所で行い、距離をとり対面を避け会話は控えめにし、飲食物を共有しない
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てない

その他の留意事項

- 大会運営者は参加者より求めた情報について、個人情報の取扱いに注意し、少なくとも1月以上保存する
- イベント終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合、東大阪市市民スポーツ支援課まで速やかに報告する
- イベント参加人数について

	参加上限	収容率
屋内	100人以下	収容定員の半分以上の参加人数とすること
屋外	200人以下	人と人との距離を十分に確保できること